

## 卒業観

校長

1年間を振り返り、成果と課題を見極め、未来を展望する年度末の3月。過ごしてきた時間や関わる全ての人、物への感謝の心や惜別の心をもって、4月からの新たなステップへの覚悟を新たにしていきたいです。

3月11日（水）に第51回卒業式を挙行政します。卒業式は、一生の中でも特別な儀式です。始まりと終わりの必然、出会いの偶然は、一生続く場合があれば、二度と訪れないこともあります。だからこそ、卒業式は大切にしたい節目と捉えます。

「若いうちの苦勞は買ってでもせよ」という格言があります。これは色々な課題を解決する力（見通し、手段、手法など）を身に付けることを意味しています。時間的な制約に耐えることも必要であり、これらは必ず、この先の人生で試され、体験的に發揮されることとなります。卒業証書の「中学校の課程を修了する」は、学習内容の理解だけでなく、中学校段階での生活習慣の確立や基本的な人格の形成を意味していると考えます。学校生活は、時間、人、物、約束など学びの中の制約において自己を鍛える不自由な環境が揃っています。ある意味「若いうちの苦勞」です。これからも学びは続きます。卒業生には、あっという間に過ぎ去った年月、新たな一步を踏み出す決意、惜別の念、蛍雪の功、少年老いやすく学成難しなど、常に学んだことを忘れずに、感じる心や感謝の心を高めてほしいです。

中学校を卒業して待ち受ける社会は、人間力が試され、求められます。その基本にあるのは、思いやりや協調、助け合いなどの基本になる礼節（「挨拶ができる」、「人の話を聞くことができる」、「良い返事ができる」）です。義務教育9年間を振り返り、やり遂げた自信をもって「やり遂げると強くなれる」の意識を強くしてほしいです。

## 「迷い」がつくる人生の豊かさ

人は生きていく上で、大切な選択や決断をするときに必ず「迷い」ます。

人間は未知な事態や物事に遭遇した、あるいは、するであろう時、ついマイナス面ばかりに目を向けがちです。これは、祖先がいち早く危険を察知し、難を逃れて生き抜くために必要な能力（本能）でもあったということです。社会が大きく動く変革期（今がその時？）には、物事や価値観が大きく動き、それは新たに生まれ変わるチャンスになります。

詩人・高村光太郎の有名な詩に”道程“(僕の前に道はできない、僕の後ろに道はできる)があります。「どこかに通じている大道を僕は歩いてゐるのぢやない／僕の前に道はない／僕の後ろに道はできる／道はぼくのふみしだいてきた足あとだ／だから／道の最端にいつでも僕は立ってゐる」と続きます。私たちは、示されたレールの上を走っているのではなく、最端（常に選択していく分岐点）に立っていること、そして、人生は「道」のようであり、それを歩む「旅」のようなもの。自らが切り拓いて道ができることを謳っています。

常に迷いながら、それでも前に進んでいく。どこにいるか分からないくらい迷うかもしれない、恐ろしいながらも、試行錯誤して自分で自分の手綱をとって前に進むのが人生ということになります。

迷うことのメリットとして、アフリカの諺に「道に迷うことこそ、道を知ることだ」があります。実際に知らない道を歩き、迷う経験をすることで、その記憶が脳裏に焼き付いて、頭の中に地図が作られていく。という実践的な考え方であり、真理に根ざしています。

知らないことを学び、迷うことを経験することで、その記憶が脳裏に焼き付いて、頭の中に知識として蓄積されていきます。旅に限らず、生きること自体が本来アドリブであり、自分の思い描いたとおりに進むことは極めて希です。迷うことこそ生きること。人生に最短距離はなく、旅がそうであるように、ゴールへの一直線の道程ではありません。人生の岐路（受験や就職、転職など）など、迷い道の連続だからこそ、迷うことの豊かさにもっと目を向けてみるのが賢明です。不正解や失敗を経験し、迷いを積み重ねることが人生を彩り、より深くします。どんな人も迷い、迷っていい。

## 小中一貫教育部会

1月26日(月)、山川中学校区小中一貫教育部会を開催しました。第2回目となる今回は、中学校の全教員が山川小学校の授業を参観し、その後、学習指導、生活指導、保健指導、特別支援教育の4つの分科会に分かれて意見交換を行いました。



今年度、山川中学校区では、学習面は「相手意識をもった表現力を育てるための手立て」、生活面は「整理整頓の充実」、保健面は「う歯治療率の向上」、特別支援教育は「丁寧な言葉遣い」を重点に共通実践事項として、それぞれの学校で取り組みました。両校とも工夫・改善を図るための実践を積み重ね、その成果と課題を共有しました。



今後も小・中学校が連携を一層深め、子どもたちのさらなる成長のために、9年間を見通した指導の充実を図ってまいります。

## 箏(こと)の授業(1年生)

現在、中学校の音楽では、日本や郷土の伝統音楽に関わる学習が必修となっており、3年間で少なくとも1種類以上の和楽器に触れる学習を行っています。

本校では、毎年この時期に、専門の先生をお招きし、1年生で箏の授業を実施しています。今年は事前に授業で箏に触れ、基本的な奏法を学んだ後、専門的に御指導していただく流れで取り組みました。当日は、姿勢や爪の付け方、音の出し方などを教えていただき、生徒たちはこれまでの学習を基に、より美しい音色を目指して意欲的に取り組みました。授業の最後には、先生が「さくら変奏曲」を演奏してくださいました。繊細で力強い音色が音楽室いっぱいに広がり、生徒たちは真剣な表情で聴き入っていました。専門の先生による御指導と演奏に触れる貴重な機会を通して、箏の魅力をより深く感じ、日本の伝統文化への理解を一層深める有意義な時間となりました。



## 新入生入学説明会

1月30日(金)、来年度入学予定の山川小学校6年生とその保護者を対象に、入学説明会を行いました。会の前半は、1年生の生徒会役員2人が6年生に向けて、小学校と中学校の違いや入学前のアドバイスを伝え、校長や生活指導担当が中学校生活の心構えや留意点について説明を行いました。後半は保護者を対象に、保健関係や学校納金、物品販売等について説明し、その間、6年生は校内を巡り、授業の様子や施設を見学しました。



新年度まであと1か月となりました。新入生の入学を、生徒・職員一同、心待ちにしています。

## 三者相談(4月)についての大切なお知らせです

来年度の三者相談は、新1年生と新2年生は4月に、新3年生は夏季休業中(7月)に実施いたします。いずれも全学年、全ての御家庭を対象に、本校にて行います。

なお、4月実施予定の日程や地区割りの詳細は、近日中に別紙にてお知らせします。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## 受賞おめでとうございます

★ 第10回南さつま市「日新公いろは歌」短歌大会

【佳作】 1年生：2名 3年生：2名

## 3月の主な行事予定

日	曜	主な行事
4	水	公立高校入学者選抜(1日目) 2年クラスマッチ
5	木	公立高校入学者選抜(2日目) 1年クラスマッチ
6	金	3年クラスマッチ
10	火	卒業式予行・準備 公立高校入学者追加の選抜
11	水	第51回卒業式
12	木	公立高校合格者発表
25	水	修了式・辞任式・PTA送別会